

活性酸素と酸素毒性

スーパーオキシドジスムターゼ、ペルオキシソーム

https://l-hospitalier.github.io

2020.4

ミトコンドリア DNA

リボソーム マトリックス

【電子伝達系】1948 年 Kennedy と Lehninger はグラム陰性菌によく 似たミトコンドリアが真核生物の酸化的リン酸化の場であるのを発 見。 1951 年 A レーニンジャーは電子伝達と ATP 合成が共役 する酸化的リン酸化 (oxydative phosphorylation) 説を唱えた。 糖や脂肪を酸化して得られた高エネルギー電子は還元型補酵 素 NADH や (少ないエネルギーで OK の) FADH。に蓄えら れ、次いで電子伝達系(鎖)によりプロトン(陽子)駆動 力に変換される。 細胞質内の NADH はミトコンドリア内 膜を通過できない。NADHの高エネルギー電子はリンゴ酸 -アスパラギン酸シャトルのような**電子シャトル**でミトコ ンドリア内膜内に輸送され内膜の電子電達鎖 (右中図の黄 緑色部分)を通過してエネルギーを放出しながら細胞質の H*を膜管腔に汲み出し、細胞内の pH を上げて水素イオン 濃度勾配を形成する。 **1961** 年ピーター・ミッチェル*¹ は <mark>【化学浸透圧(chemiosmosis)】</mark>説を唱えた。 **H**⁺イオン が電気化学的勾配に従って膜間腔から細胞内に戻るとき半 透膜(内膜)を通過するがこの時 ATP 合成酵素を通過、こ れの α 、 β 、 γ サブユニットを回転^{*2} させ、ADP と無機リ ン酸を結合させて ATP を形成する(右図)というもので、 ATP 産生のためのエネルギーはミトコンドリア内膜を隔てた

ATP 合成酵素 膜間腔 クリステ グルコース → グリセロール → 解糖系 脂肪酸 ピルビン酸 ミトコンドリア ピルビン酸 脂肪酸 ADP β酸化 ATP 合成酵素 H₂O € アセチル CoA O₂ + H+ -クエン酸 - - -> 🚌 NADH • FADH₂ NAD+ FAD · H+ 電子伝達鎖 膜間腔

#235

H⁺イオンの濃度差として蓄えられる。 最終的に <mark>10(NADH+H⁺)+ 2FADH₂+ 6O₂ →</mark> <mark>10NAD*+2FAD+12H₂O+34ATP</mark> となる。 電子伝達系の最後の過程で電子とプロトンは **○2**分子に取り込まれ、**H2O**となる。 **【酸素毒性】 ○2**は電子受容能力が大きいのでエ ネルギー産生効率が高い。 通常の好気性代謝で O₂の 90%は H₂O に還元されるが代謝 回路の途中で O₂ が不対電子 unpaired electron (˙) を捕獲すると**ラジカル**^{*3} となり副 産物として毒性の強い**活性酸素**を ①スーパーオキシド(˙O₂˙) ②過酸化水素(H₂O₂) ③ヒドロキシラジカル ($^{\cdot}$ OH) の順に生成、分解をする。 これらと4一重項酸素 singlet oxygen ($^{1}O_{2}$) を活性酸素と総称し、これらは強い酸素毒性を持つ。 一般に気体の酸 素分子自体に生物毒性はほとんどなく、毒性は酸素から生じる活性酸素分子種(ROS, reactive oxygen species) による。 活発に呼吸中のミトコンドリアは呼吸に使われる **O₂** の 0.1~4%から * **O₂** が発生するが、これらの ROS は酵素、膜脂質、核酸を損傷し、 直ちに処理されない限り極めて致死的。スーパーオキシドは通常の O₂分子に電子が 1 個取り込まれた 1 電子環元体で、 Q_2 から最初に生成され π 対電子 1 個を持つ。 その後 過酸化水素、ヒドロキシラジカルと変化する。 O₂ の 2 分子は 【スーパーオキシドジ スムターゼ:SOD により急速に H_2O_2 と O_2 になり、 H_2O_2 はカタラーゼやペルオキシ ソームのペルオキシダーゼで分解される。 SOD は全ての真核生物に広範に存在*4、銅 **と亜鉛、マンガン、鉄**などの金属を持ち、特に赤血球由来の **SOD** はこの反応を急速に 促進、解毒する。 酸素消費量に対する SOD 活性と動物の寿命は相関すると言われ、 体重に対し酸素消費の多い動物ほど寿命が短いはずだが、SOD が活性酸素を分解して 寿命を延長すると考えられる。 霊長類のヒトは際立って高い SOD 活性を持ちヒトの 長寿の原因とされる。過酸化水素 H_2O_2 が 1 電子還元されたヒドロキシラジカル (OH) は非常に反応性が高く多くの生体損傷は OH による。 α , β カロチン、Vitamin E、尿 酸、リノール酸、システィン、フラボノイド、グルタチオンなどが OH を捕捉、抗酸化 作用を持つ。 白血球やマクロファージは、細胞内にあるリソソームで意図的に ROS を利用して捕獲した病原菌を殺菌する。

¹ ピーター・ミッチェルは 1978 年ノーベル賞 ² 1997 年ボイヤー、ウオーカー、スコウが ATP 合成酵素の回転モデルでノーベル賞 ³ ラジカルは最外殻に 1 個以上の不対電子を持つ物質。 H₂O₂ は非ラジカルの ROS。 ⁴ 生物が毒性の高い酸素を呼吸して有機物を酸化する効率の良い好気性代謝を手に入れることができた原因とされる。